

札幌商工会議所

<http://www.sapporo-cci.or.jp/>

さっぽろ経済 10

2008 OCTOBER vol.590



特集 1 変わる札幌のホテル事情



北海道新幹線
次は札幌へ!!

特集 2 逆境をチャンスに変える！発想実践の新商品・新サービス

道産品のブランド力向上に貢献する
リアルタイム輸送品質管理システム「エル・サーモ」

NEW GOODS, NEW SERVICE.



食の安全・安心を脅かすさまざまな問題が頻出する中、確かな国産品とりわけ道産ブランドへの期待と責任はますます大きくなっている。生産から流通・販売まで各段階での情報を追跡できるトレーサ

ビリティシステムを導入する事業者は増えているが、「温度など輸送品質の記録管理は絶対条件になりつつあるが、輸送時の品質管理は運送会社

にまかせている荷主さんが多い」と、(株)エルムデータの村上由彦社長は語る。

同社では五年前に、低温物流輸送品質管理システム「エル・サー

▼11月販売開始(予定)の
海陸一体型「エル・サーモ」



モ」を商品・開発化。生鮮食料品などを運ぶ保冷車・

冷凍車などにGPSを内蔵した小型端末を設置し、移動中の車両の位置、庫内・外気温度、ドアの開閉状況などの情報を、携帯電話網を利用したパケット通信でリアルタイムに自動収集・伝送するシステムを提供する。

「従来の記録方式では輸送終了後の結果出力でしたが、『エル・サーモ』は温度監視等をリアルタイムに行いますので、輸送事故の予防や異常時の迅速な対応を可能とするのが大きなメリットとなります。

既に導入された運輸会社では、『輸送中でも荷主の問い合わせに即座に対応できた』『庫内の温度ムラが発見でき、送風機の設置位置を変更するなど輸送品質の改善に役立てた』など、高い評価をいただいています」。

同社はこの技術をベースに、

フェリーでの海上輸送中もリアルタイムに庫内状況を監視できる海陸一体型のシステムを開発した。昨年には札幌市ものづくり産業活性化支援事業に採択され、今年十一月の発売を予定している。

「エル・サーモをフェリー会社が新たに構築する船内の無線LANに対応させ、乗船中の車載機から衛星通信を介してデータを伝送する仕組みです。海上輸送では給電障害などにより品質低下を招くケースが少なくありません。シビアな温度管理が要求される乳製品や生鮮品など、出荷から納入まで一貫して品質管理することで、高品質なものを高品質のまま輸送するためにご活用いただきたいと考えています。それにより道産品のブランド力向上、確かな信頼の確保に貢献できれば幸いです」。

(株)エルムデータ

電話〇一一八九八七〇七七

<http://www.elmdata.co.jp>